平成28年度広島県パイロット事業（実証実験）

第4回協議会既報

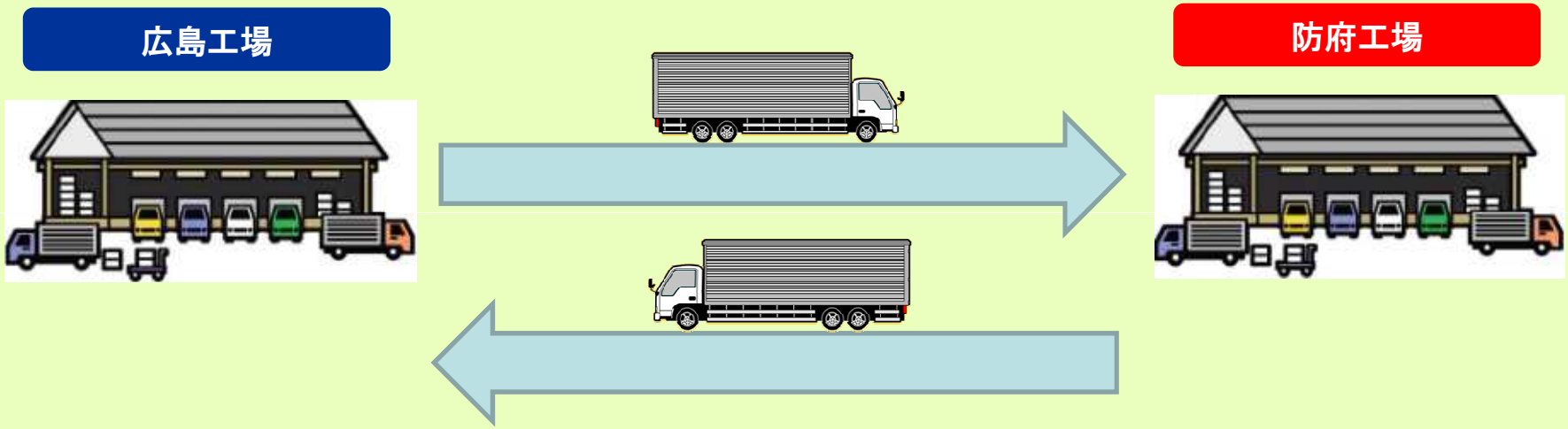
国土交通省

資料　2

目的及び概要

- トラック運転者の長時間労働等の改善に向けて、地域の実情を踏まえた実践的な議論を進めるため、発荷主・着荷主及び運送事業者（以下「対象集団」）が連携して、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、①荷主及び運送事業者の現状の分析や課題の洗い出し、②課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実践、④検証等　を行う。
- 実施事例は、今後の中央協議会や地方協議会でのさらなる議論（ガイドラインの策定を含む）に活用する。

対象集団



＜本パイロット事業の輸送特性＞

・発着荷主は同一の製造業者ある。（工場間の横持ち輸送）
・輸送品はエンジン、トランスミッション（自動車部品）及び空きパレット
・元請事業者は真荷主の物流子会社で、実運送には従事していない
・本パイロット事業の運送事業者は、1次受注者が1者、2次受注者は2者となっている。
・輸送区間は広島県（広島地区）　～ 山口県（防府地区）、1運行の走行距離（片道）約130km
・１日往復で12時間以内の拘束時間により計画（積込み・取卸し、輸送及び休憩時間を含む）
・生産計画に即した輸送時間が設計され、ジャストインタイム輸送

広島県パイロット事業

【具体的内容は第３回検討会に向けてさらに検討中】

国土交通省

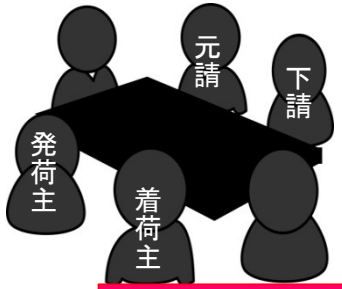
- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析や課題の洗い出し、②課題に対する解決手段の検討、③解決手段の実践、④検証等　を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞
- 発荷主（製造業）
- 元請運送事業者
- 下請運送事業者
- 着荷主（製造業）

コンサルタント
（日本PMI ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ）



第1回検討会（9／23）

課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞
- 積込み・取卸し作業時等の待機時間の削減
  - ・時間帯により、車両によっては待機時間が長時間化する傾向にあり、現場実態を踏まえ改善する必要がある
- 車両ごとに運行、附帯作業、待機に関する時間にバラつきがあることから、バラつきの要因分析を実施し、改善を図る必要がある

第2回検討会（12／9）

実証実験

設定した課題に対する解決策を実証する。

＜実験＞
- 運転者の労働時間管理に向けて、GPS運行管理ステムをいかに改善するか、問題と課題を整理
- GPS運行管理システムを活用し、運行、附帯作業、待機における時間分析を実施し、問題の原因分析を実施
- 現場における長時間化している問題・課題を踏まえ、改善方策を検討し、年度内に実施可能な取組み事項を試行実施

第3回検討会（2月～3月）

実験結果検証

10～12月

2月以降

今後の進め方（スケジュール等）

国土交通省

第4回協議会既報

中央協議会・地方協議会とパイロット事業の進め方（概要）

	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地方協議会 中央協議会	7/12 第４回地方協議会				12/16 第５回地方協議会		第６回地方協議会	
		9/7 第４回中央協議会			第５回中央協議会			第６回 中央協議会
パイロット事業の進め方	9/23 第１回検討会 **現場実態の一時把握** ➢合意の形成 ➢チェックリストの配布 ➢意見交換　等				12/9 第２回検討会 **改善メニューの提示** ➢現場の実態と問題点の確認 ➢改善メニューの提示 ➢意見交換　等		2~3月 第３回検討会 **改善結果のまとめ** ➢報告書案の提示 ➢今後の意見交換 ➢ｱﾝｹｰﾄ調査票の配布　等	
	事業場訪問 10/14 10/25 **現場実態の詳細把握** ➢実態の聴き取り ➢運転日報等による情報収集 ➢改善方法等に対する意見交換　等		11/11 事業者ﾋｱﾘﾝｸﾞ		✓現場での改善メニュー実施可否の検討 ✓現場での改善メニューの実施		✓改善結果のとりまとめ ✓今後の課題や対応策の検討	
	✓長時間労働の要因の整理 ✓改善メニューの検討				事業場訪問 1～2月 **改善結果の把握** ➢運転日報等による情報収集 ➢効果の把握 ➢改善策や今後に関する意見交換 等			